

劇
35ミリ
白黒／27分

- 企画
貯蓄増強中央委員会
- 撮影協力
群馬県利根郡久呂保村

スタッフ

- 製作
村山英治
- 脚本
鮎沢美子
- 演出
青山通春
- 撮影
瀬川 浩
- 照明
田口政広
- 美術
阿部三郎
- 音楽
渋谷 修
- 製作主任
久保治男

■出演

悦さん：寺島アキ子
勇さん： 寄山 弘
爺さん： 森野五郎
婆さん： 原 久子
他

文部省選定

この映画は、全国地域婦人団体連絡協議会と貯蓄増強中央委員会が提携して全国から集めた主婦の体験記から、入選した群馬県利根郡の山村に住む藤井エツさんの生活改善の記録「8年間の記帳生活」をもとにしたドラマである。



畑へ行き来するだけでも時間のかかる山村で、夫の勇さんは野良仕事の手がまわらず、いつも台所の後片付けをしてから畑に出てくる妻の悦さんを「のろい」と叱る。夫婦げんかのタネはいつもこれである。このことから不向きままりない古い台所を直そうという計画が若い夫婦に芽生えた。2人は協力して家計簿をつけ、少しでもムダを省いて貯金しようとするが、老父は頭から反対で協力してくれない。

そこで悦さんが考えたのがタバコ貯金だ。勇さんはタバコを吸わないので、吸ったと思ってその分だけ貯金してもらうことにした。貯金は少しずつ増えていき、勇さんもあれこれ生活を工夫する張りがでてくる。そして月別の収支一覧を作ってみると、長い冬の農閑期に全く収入がないことに気がついた。これが貧しい原因だと2人は台所の改善はひとまずおいて、乳牛や養鶏をはじめようとする。ここでまた、生きもののきらいな両親の反対にあう。2人はくじけず、タバコ貯金で風呂好きな老父のために太陽風呂を作ったりして、次第に両親と和解していく。こうして、反対を押してムリして飼った牛が孕む頃には、老夫婦までが子牛の誕生を期待するようになった。一家は年々生活が順調になり、昔のままに沈滞した静かな農村にも、この一家の明るい出来事が大きな刺激となっていった。